

8つのビジョン!議会はどう見た?

① 拠点都市にふさわしい都市機能の整備

具体的に何をやる?

- 行政手続のオンライン化などによる行政サービスの向上
- デジタル技術の社会実装に向けAIチャットボット^(※)、母子健康手帳アプリの導入
- 博物館都市構想の具体化に向け「(仮称)まちじゅう博物館構想」を策定

議会での声

問 (仮称)まちじゅう博物館構想について、「博物館」とはどのような基準を想定しているか?

答 市内各所に点在する、文化財や建造物、町並み、文化芸術などをつないで、来訪者がまち全体を博物館と感じられるように、官民が連携して取り組んでいきたい。その対象については個人所有のものも含め検討していきたい。



津山全体が博物館に?

② 安心して子どもを産み育てられる多世代共生

具体的に何をやる?

- 生活困窮家庭への就学援助のうち学校給食費について、8割給付から全額給付に引上げ
- 放課後児童クラブのクラス増設や支援員の処遇改善
- 4月から公立幼稚園の預かり保育の時間を延長

議会での声

問 放課後児童クラブについて、利用を希望するすべての児童を受入れる体制の整備はいつまでに行うのか?

答 現在、希望者全員の受入れができていない児童クラブがある状況から、早急に整備をする必要がある。そのため、早ければ令和5年度から、遅くとも令和6年度からは全員の受入れができるよう、クラブの運営体制の整備等、定員の拡大に向けて取り組んでいる。



児童クラブの受入れ体制は?

もっとその先へ! 市長改めて意気込みを語る! 誰もが輝く拠点都市津山を築く!

6月定例会の開会日に、2月から2期目をスタートさせた市長が、今後の市政運営における基本的な考え方について説明する、所信表明を行いました。

市長は冒頭、津山市の10年後、20年後を想い、誰もが輝く拠点都市津山を築くべく、今までの取組を継続発展させ、住民の皆様と力を合わせて、地域経済の再生と地域社会の活力創出に全力で取り組んでいくとの思いを述べました。その後、市の将来に向けて取り組む4つの重点目標とそれを実現するための具体的施策を8つのビジョンに沿って説明しました。



本会議で所信表明を行う谷口市長

6月定例会では、この所信表明と政策的経費が計上された補正予算議案の審議が重点的に行われました。この特集では、具体的施策8つのビジョンの紹介と、それに対する議会の声を紹介します。



所信表明の様子はこちらから
(左は津山市HPへ、右は動画につながります)

市の将来に向けて掲げる4つの重点目標!

①

快適で楽しい、
住み続けたい街!



②

安心して暮らせる
地域共生の社会!



③

持続可能な
地域内循環型の経済!



④

教育の充実で
未来を切り拓く人材!

